

(原子力安全・保安院が発信したメール)  
平成24年7月25日 15時47分発信

関係者各位

標記の件について、関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日(7/25・水)14時43分、大飯発電所4号機の中央制御室で、非常用ディーゼル発電機ターニング装置に係る警報(4号機安全系CC(コントロールセンター)負荷トリップ)が発生しました。

現在、非常用ディーゼル発電機(A)は自動起動できるように復帰済みです。

本警報は、7月16日(月)にも発生しています。

警報は、前回と同様、大飯4号機の非常用ディーゼル発電機(A)のターニング作業※のため、ターニングモータを起動した際、モータの過負荷が生じたことにより発生したものと推定しています。

※非常用DGの停止中において、定期的に主軸を別のモータを用いて回転させる作業。

ターニング作業については、7月16日の警報発生後、18日、20日、23日にも実施していますが、その際には問題なく作業が行われ、警報は発生していません。

ターニング装置は、非常用ディーゼル発電機の自動起動の際に使用するものではありませんが、本日夕方を目途に、非常用ディーゼル発電機(A)の機能に問題がないか健全性確認を行う予定です。

外部への放射性物質による影響はありません。

現地保安検査官が現場確認を行っています。

以上